



ひまわり通信

日本共産党
市川市議員 **ひろた徳子**



日本共産党控室
市川市八幡1-1-1
334-1111 (18219)

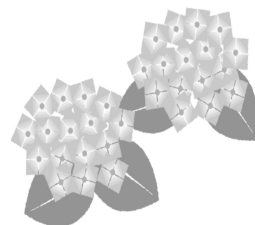
2021.7.4 N071

6月定例議会冒頭

日本共産党と無所属の会が

村越市長不信任案を提出

(13対25で否決)



2月議会で、「市長室に設置されたシャワー室を撤去し原状回復を求める決議」を可決しましたが、この間、市長は、シャワーの撤去に応じることはありませんでした。去る6月1日に記者会見を開き、「シャワー室の撤去には応じない。災害時、私が使った後、女性職員に使ってもらう」などと、議決を無視し、市民の声を傾けませんでした。市長の、市民に対する政治姿勢を象徴的に表しています。「勝つのは市民だ」

と当選したにもかかわらず、テスラ車問題も、階段問題も市民や議会が全く知らないところで決められ、マスコミの報道で知られるということが繰り返されてきました。

「市民アンケート」の市政を問う回答に、

今年特に多く書かれていたことは、
・市民の税金を私物化している
・テスラ社の事は忘れない
・市民目線で考えてほしい
・早くやめてほしい
・ガラス張りのシャワー室は撤去するべき
などの意見でした。

教科書展示会に行ってきました

今年から行徳地域でも開催

7月5日(月)～7月9日(金)

時間：10時～17時

会場：南行徳市民談話室

左記期間中も展示会が開催されます。

7月21日(水)～8月31日(火)

時間：10時～17時

会場：市川市文学ミュージアム資料室

(市川市生涯学習センター3F)

市内小中学生が読んでいる教科書が展示してあります。歴史上の同じ出来事でも教科書会社によって書き方が違います。どなたでも見る事ができます。



私は以下の項目で質問をしました

○清掃行政について

- (1) ごみの分別の現状と課題について
- (2) スマートi-BOXの今後について

○地域コミュニティゾーンについて

- (1) 進捗状況について
- (2) こども施設の建設構想について

○保育行政について

- (1) 児童発達支援相談窓口について
- (2) 保育園整備について

○行徳支所管轄の業務について

- (1) 行徳パスポートセンターの現状について
- (2) 市長・副市長の執務実態について
- (3) ワクチン接種の現状について

アンケートは今年も千通を上げる回答をいただきました。地域ごとに要望をまとめ、7月中に、市に提出する予定です。ご協力ありがとうございました。

無料法律相談

次回8月10日(火)午後2時より
市役所6F共産党控室にて

1人30分、事前予約が必要です。
334-1111 内線18219
までお電話ください。



核兵器のない世界を！
戦争のない日本を子どもたちに！

7月17日(土) 16時～17時

行徳駅でスタンディング行動をしましょう



平和を願う行進はありません

飲み物とマスクご持参を

小雨決行

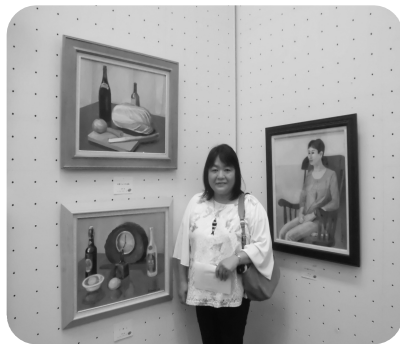
核兵器禁止条約の歩み

2017年国連加盟国2/3の122か国で採択された

2021年1月発効。署名国は86、批准国は54か国に
参加国が増えたと核兵器のない世界に近づきます

原水爆禁止国民平和行進行徳実行委員会 橋 358-1760、斉藤 396-3276、船木 395-3389、澤谷 396-4715

職美展に行ってきました



6月6日から13日まで東京都美術館で開催された「職美展」。職場や地域で働きながら、余暇に絵や手芸など思い思いに造られたものが、展示してありました。写真の3点の絵は、南行徳地域在住のSさんの作品です。カレンダーにするなど本格的です。コロナ禍の下、心を込めた作品に触れるのもいいですね。

生活と健康を守る会相談会

7月24日(土) 14時から16時

行徳センターにて

ご相談のある方は、事前にご連絡ください

090-9958-9209 廣田

こんにちは、日本共産党の浅野ふみ子です。

梅雨らしからぬ猛暑や突然の豪雨など目まぐるしい天候ですが、いかがお過ごしですか。

先日、廣田徳子市議と地域を訪問していると、「オリンピックはもう中止できないでしょ」と、ひまわり通信をお読みいただいている方から声がかかりました。オリンピックを楽しみにしている方も、「コロナは大丈夫だろうか」という不安を感じています。各種の世論調査では、感染拡大への不安を感じ、五輪開催に「中止」「再延期」が半数以上にのぼっています。最前線の医療現場の皆さんはどうでしょうか。

東京都医師会など都内54医師会は6月21日、五輪・パラリンピック開催についての意見書をまとめ、大会開催の必須条件として、大会によって「感染が拡大しないこと」と「通常医療が圧迫されないこと」を政府と大会組織委員会、東京都知事に要請しました。意見書は、新型コロナウイルス感染症はその「収束への行程は不確実」で現時点で十分に「コントロールされた状態とは言えない」と指摘しています。さらに、必須条件を維持できない場合には「都民・国民の安全・安心を守るために、無観客または中止することも考慮していただきたい」と求めています。

「五輪より命が大事」というのは極めてシンプルな立場です。子どもの観戦中止を求める世論に押され、事業をキャンセルする自治体も広がっています。オリンピックは自然現象ではありません。人が行うイベントは、中止できるはずです。

声をあげれば必ず政治は変わります。今年3月、小学校の学級編成規模を35人にする法律が可決されました。40年越しの少人数学級を求める運動と日本共産党の国会論戦の共同の成果です。

先に紹介した方は、話の最後には「オレは今までずっと日本共産党に入れてきたよ。考えが違うこともあるけどね。頑張つてよ」と激励してくださいました。

引き続き、命と暮らしを守る政治を実現させるために全力をあげる決意です。

ひとりごと…新型コロナウイルス感染症発症から早、1年半が過ぎました。行政の対応で、誰もが安心して生活しているか、そうではないか大きな分かれ目だと感じています。国の指示だからとそのまま行うのではなく、人口や暮らし方の違い、例えば農業や漁業なのかサラリーマンが多いのか、なども対応が違うはずですよ。自助や共助と言う言葉を多く耳にしますが、税金や保険料を払っている国民に公助はないのか。生活と健康を守る会の相談会で、国は「介護離職ゼロを目指す」と言いながら具体策もなく、一度離職すると再就職が困難で先が見えない。また老々介護で精魂尽き果ててしまっている生活も困難な状態になるなど、行き届かない福祉。これからは福祉と暮らし第一に、頑張ります。